

2017. 5. 18 水谷

『ピートルチュアブル錠』  
キッセイ薬品工業株式会社 道野様

出席者：近藤、味田村、生越、佐藤（綾）、小西、木元、阿部、伊藤、佐藤、水谷

透析患者においてリン代謝異常は心血管系を含む各種合併症や死亡リスクの増加に関連することから、血清リン濃度を適切に管理することが推奨される。

ピートルチュアブル錠は少ない服薬錠数で血清リン濃度を改善する薬剤であり、服薬アドヒアランスの向上が期待される。

【効能・効果】

透析中の慢性腎臓病患者における高リン血症の改善

【用法・用量】

通常、成人には、鉄として1回 250mg を開始用量とし、1日3回食直前に経口投与する。以後、症状、血清リン濃度の程度により適宜増減するが、最高用量は1日 3000mg とする。

【使用上の注意】

1. 本剤投与開始時又は用量変更時には、1～2週間後に血清リン濃度の確認を行うことが望ましい。
2. 増量を行う場合は、増量幅を鉄として1日あたりの用量で750mg までとし、1週間以上の間隔をあけて行うこと。
3. 本剤は口中で噛み砕いて服用すること。

【副作用】

主な副作用は、下痢（22.7%）であった（承認時）。

【作用機序】

スクロオキシ水酸化鉄は、消化管内でリン酸と結合し、消化管からのリン吸収を抑制することにより、血清リン濃度低下作用を示す。

### 【特徴】

1. 生理的な金属である鉄(III)を含有したリン吸着剤。
2. 52週にわたり、血清リン濃度を管理目標値(3.5~6.0mg/dl)の範囲内に維持した。
3. 崩壊性のあるドーナツ型のチュアブル錠。かみ砕きやすいため、窒息防止になる。pHに依存せず、11~16分で崩壊した。

### 【考察】

慢性腎不全に伴う高リン血症は、カルシウムやリンの上昇を招き、軟部組織にリン酸カルシウムが沈着し、異所性石灰化を引き起こす原因となる。

現在、リン吸着剤は数種類承認されており、それぞれの薬の特徴を理解し、患者にとって最も適した薬を選択することが重要である。

ピートルチュアブル錠は他剤と比較し服用錠数が少なく、コンプライアンス向上が期待される。また、かみ砕かず服用しても腸管穿孔等の発現リスクが低く、生体内必須元素である鉄を主成分にしているため、臓器への蓄積の懸念が少ないと考えられる。

下痢の副作用が多く、透析中の患者によっては他剤を考慮する必要があるが、総じて安全性が高く高リン血症改善の効果が期待される。

### 【質疑応答】

・味は？

→味は良くない。

すべて口の中をかみ砕くのではなく、PTP包装の中で4分割してから、少しかみ砕いて服用すると味があまり気にならない。

・ピートルチュアブルは膨らむか。

→薬剤が水分を吸収することはないため、膨らまない。

そのため、副作用に腹部膨満感はあまりない。